

このたび飛鳥新社様より「歩き続けよう～手と足のない私にできること～」を弊社所属の佐野有美^{あみ}と共著で上梓いたしました。

この本は2011年『第53回、輝く！ 日本レコード大賞企画賞』を受賞した佐野有美のCDアルバム『あきらめないで』より、話題曲「歩き続けよう」の詞をコンセプトに、佐野有美が半生をエッセイにまとめました。そして、そこに追記する形で私が彼女を陰で支えてこられたご両親や関係者の皆様にスポットを当て、1冊の本として完成させたものです。佐野有美としては3冊目になりますが、私も過去2冊の出版にも携わり、彼女をどのように支援したら自立への道が開かれるだろうか、と模索しながら共に歩を進めてまいりました。

私事になりますが、長年ライフワークとして障害者・がん・難病・認知症・高齢者のサポートをさせていただきましたが、彼女との出会いをきっかけに、2年前ハンディのある方の自立支援を目的とした会社(株)Mプランニングを立ち上げました。前職は記者として、事件や事故に巻き込まれた方、疾病や震災により最愛の家族を失うという、運命と呼ぶにはあまりにも悲しいすぎる方々の取材・執筆を続けておりました。振り返りますと、悲惨な現場でも生への希望を見だし、前を向いて今を大切に生きている方々との出会いが、ライフワークに転じた瞬間でした。

厚生労働省は、新たに精神障害者の採用を企業に義務づける方針を固め、障害者の社会進出が期待されています。しかし、現実的には障害者の自立への道は、きわめて厳しい。佐野有美も同様に就職は困難を極めました。高校卒業後、仕事が見つからずうつ状態になった彼女の姿に一念発起。私財を投げ打ち、寝食を忘れ、彼女とご両親のサポートに没頭したのです。しかし、それはまさに差別と偏見との闘いでもありました。4年の年月をかけプロデューサーとして佐野有美の知名度を上げましたが、そこには幼少時代から何事にもあきらめない心でぶつかっていき、弱音を吐かない本人の強い精神力と家族の支えが不可欠でした。支援する側と受け手の強い両輪がなければここまでくることはできなかったでしょう。そのように考えると、障害や病気などハンディのある方が自分のやりたい道へと進むことは困難と言わざるを得ません。

人生は困難や悩みの連続です。いじめ自殺、失職者の増加、家庭内トラブル、介護、子供から大人まで悩みの差こそあれど、生きている限りは何らかの困難を抱えています。そのような方々が、自分の役割に気づき、自分だけの価値ある、かけがえのない人生が送れるように願ってやみません。本書は、生きる意味と人間本来の力を感じていただけるような作品です。この一冊が皆様のお役に立てることを祈っております。また、このご縁に感謝し、佐野有美共々、末永くご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

株式会社Mプランニング 代表取締役 藤本美郷